



峯新一議員

●人口減の防波堤となるか

問 特別な「まちづくり」を考えているか。

答 企画情報課長

コンセプトを基にパークタウン的なイメージで、家庭菜園ができる敷地の広さ、道路、歩道、水路、緑化、公園などを考えていきます。

問 入居者募集の対象として町内者、町外者の優先順位はあるか。また、所得制限などはあるか。

答 企画情報課長

今のところそういう考えは持っていません。

答 企画情報課長
地元説明はまだです。基本設計を進める段階で、地元説明する予定です。

問 上毛町の発案として有名な建築家や新人建築家等の描いたものを全国に発信してはどうか。

答 企画情報課長

町としてはハウスメーカー、地元の建築業者さんにお願いでモデルハウスを作り、斡旋していくのも一つの案だと考えています。

問 販売価格は。

答 企画情報課長

友枝保育所跡地分譲、八ツ並住宅分譲を参考にしながら、これから決定したいです。

東高校跡地利用の問題を問う

問 現在までの進捗状況は。

答 企画情報課長

住宅造成の基本設計委託予算を9月議会で可決いただきました。現在、業者選定、基本検討（道路、排水路、区画等の配置）をおこなっています。

問 跡地利用計画案は。

答 企画情報課長

宅地化の基本方針、コンセプト（ゆとり、環境、子育て、つながり）を東高校跡地に示していきたいです。



県立築上東高等学校跡地

問 この住宅づくりで人口減の歯止めとなるのか。

答 企画情報課長

概ね50戸を考えています。1家族3人と考えて150人の方がここに住むようになります。町内であれば人口減に歯止めがかり、町外の方が入居していただければ人口の増加につながるかと考えています。

問 周辺地域住民に対して十分な説明はしているか。

もあり、検討が必要です。それ以外の部分の管理運営の問題も出てきます。要は町民の負担にならないような行政を進めることが基本です。売却を考えるには十分な時間が必要

大池公園周辺施設の指定管理は（大平樂など）

問 平成24年度で指定管理の契約が満了するが、その後の考えは。

答 町長

平成24年度中に、大平樂などの指定管理制度を延長するのか、あるいは民間へ売却するのか決定したい。しかし売却は少し無理だと思っています。指定管理制度を短期間延長することが必要かと感じて

問 指定管理検証委員会の評価内容を議会に報告すべきでは。

答 企画情報課長

議会への報告は、今のところ考えていません。

問 報告するように考え直すべきでは。

答 町長

平成24年度当初予算の中で、検証委員会の予算をお願いします。評価については説明し議会で審議をして頂ければ十分だと考えています。

問 売却の問題点は。

答 企画情報課長

大平樂だけ売ることは難しい。横に『さわやか市』や県の補助事業で造ったグラウンドもあります。

答 町長

建設費などの償還の部分

「道の駅しんよしみ」は

問 町は町産品のブランド・特産品化に取り組み、都市でのPR活動を頑張っているが、それも販売拠点があつてのこと。黒字化が望ましいが多少赤字でも販売拠点維持のため、根気よく経営改善に努めてもらいたい。

答 企画情報課長

黒字を目指し相当頑張っています。達成できれば継続して営業ができるということ。道の駅に対し、激励しています。

問 町長は総合計画で、道の駅を「まちおこし」や情報発信の拠点と位置づけている。上毛町を売り出すためにも、名称を「道の駅こうげ」に変更すべきでは。

答 建設課長

町道63力所で延長5,300m、水路13,600m、水道敷設替えが2377mなどです。

問 町内業者を使い、産業の育成をして頂きたいが。

答 副町長

そのように働きかけています。

問 中学校の校名変更よりは合理的で、法的な申請をすれば済むこと。上毛の発展を考えれば変更すべきでは。

答 町長
名称変更には、法的の変更や国交省への申請も必要です。10年しかたつてなく愛着や関心が強い。変更は簡単ではありません。

答 町長
用地提供者の心境を考えると抵抗があり、中学校とは状況は違います。簡単に改称するのではなく、現状を維持した方が皆さんに平穩無事に活用して頂けると考えます。

東九州自動車道は

問 自動車道の工事に関連して、町道などの工事予定は。

●東九州自動車道は
●道の駅しんよしみは
●大池公園周辺施設の指定管理は（大平樂など）

宮崎昌宗 議員



道の駅しんよしみ